

福智町議会の窓

2019.12
VOL.47

議会だより

FUKUCHI TOWN COUNCIL NEWS

主な 内容

- 議決結果……………2・3
- 決算特別委員会報告……………4
- 常任委員会報告……………5～7
- 一般質問(9議員)……………8～17
- 研修会参加報告・表紙紹介・編集後記……………18

表紙 飯土井神社

(場所:福智町神崎)

議決結果

令和元年

第3回福智町議会定例会

【会期9月4日～18日】

〔定例会審議内容〕

令和元年（2019年）第3回福智町議会定例会が9月4日（水）から9月18日（水）の会期で開催されました。定例会では、森美津雄副町長の就任挨拶や各委員会報告などが行われた後、議案等の審議が行われました。今回の主な審議内容は、平成30年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定、福智町消防委員会条例等の一部改正、令和2年4月開校予定の福智町立金田義務教育学校設置に伴う条例の一部改正、令和元年度一般会計・特別会計補正予算、人権擁護委員の推薦、新たな過疎対策法の制定に関する意見書、教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための請願等でした。さらに金田義務教育学校給

食調理棟新築工事の契約締結に係る追加議案が最終日に提出され、その結果、議案11件と認定、諮問、意見書、請願は賛成多数により可決・採択・答申されましたが、給食調理棟新築工事の議案については反対多数で否決されました。また、一般質問は9人の議員が町の施策や考え方について町長に問いいただきました。

※金田義務教育学校給食調理棟新築工事は、再入札後、10月18日（金）の臨時会で議案が提案され、賛成多数で可決されました。

【契約金額】
2億5029万4000円

【契約の相手方】
有限会社 山口組

《福智町消防委員会条例の一部改正》

議決機関である議会議員が、附属機関である各種行政委員会の構成員として加わることは適当でない、という各種委員会の委員への就任を制限する決議を受け、福智町消防委員会の委員から町議会議員を削除し、委員の定数を11人から8人に変更する改正案を、可決しました。

〔審議結果〕

出席議員16名
可決《賛成14 反対1》
議長は除く

《福智町青少年問題協議会条例の一部改正》

福智町青少年問題協議会の委員から町議会議員を削除し、委員の定数を24人から15人に変更する改正案を、可決しました。

〔審議結果〕

出席議員16名
可決《賛成15 反対0》
議長は除く

《福智町育英資金貸与条例の一部改正》

福智町育英資金審議会の委員から町議会議員を削除し、委員の定数を7人から5人以内に変更する改正案を、可決しました。

〔審議結果〕

出席議員16名
可決《賛成15 反対0》
議長は除く

《福智町奨学金給付条例の一部改正》

奨学生選考委員会の委員から町議会議員を削除し、委員の定数を7人から5人以内に変更する改正案を、可決しました。

〔審議結果〕

出席議員16名
可決《賛成15 反対0》
議長は除く

《福智町学校給食施設等の設置及び管理運営に関する条例の一部改正》

運営委員会の委員から町議会議員を削除し委員の定数を14人から12人以内に変更し、来年度開校予定の金

田義務教育学校に単独調理場を設置する改正案を、可決しました。

【審議結果】
出席議員16名
可決《賛成15 反対0》
議長は除く

▲金田義務教育学校



▲金田義務教育学校

《福智町印鑑条例の一部改正》

印鑑登録証明書に旧姓が併記され旧姓の実印が使用可能に！

この改正は、社会において旧姓を使用しながら活動する女性が増加しているなか、旧姓を使用しやすくなるようにとの閣議決定を踏まえて出されたものです。印鑑登録証明書に旧姓を併記することにより、旧姓の実印をそのまま使えるようになります。令和元年11月5日から施行です。条例改正案を審議し、可決しました。

〔審議結果〕

出席議員16名
可決《賛成15 反対0》
議長は除く

《福智町一般会計及び特別会計補正予算》

一般会計1億3872万6千円の追加補正を可決！

一般会計補正予算（第4号）案の主なものは、以下

のとおりです。追加予算1億3872万6千円を可決しました。今回の補正により歳入歳出総額は、それぞれ191億3448万3千円となりました。また、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、福智町立診療所事業特別会計も補正予算案を審議し、可決しました。

主な補正内容（歳出）

- ・金田小学童クラブ新築工事費及び監理委託費 7612万2千円
- ・保育所等整備事業費補助金及びすずらん学童クラブ新築工事費補助金 5130万円
- ・田川広域水道企業団出資金 1230万円

【審議結果】
出席議員16名
可決《賛成15 反対0》
議長は除く

《人権擁護委員の推薦》

人権擁護委員に崎山いづみ氏を推薦！
基本的な人権の保障をより充分なものするため、人権

《意見書の採択》

新たな過疎対策法の制定に関する意見書を採択！

過疎対策について、昭和45年制定の「過疎地域対策緊急措置法」が一定の成果をあげましたが、未だ多くの集落が消滅の危機に瀕しています。現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効となりますが、そこに住み続ける住民が、安心・安全に暮らせるよう、引き続き総合的な過疎対策を求める意見書を採択しました。

《請願書の採択》

教職員の定数改善と国庫負担制度2分の1復元を求める請願書を採択！

福智町教職員組合田川支部（請願項目）
・計画的な教職員定数改善を推進すること。
・教育の機会均等と水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

【審議結果】
出席議員16名
可決《賛成15 反対0》
議長は除く

採択された請願は意見書として、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣に送付します。

令和元年第3回定例会出欠表

日 程	属	田 寄	石 谷	橋 本	小 松	尾 崎	木 戸	沼 口	朝 部	高 津	堀 江	楠 木	日 比 生	木 村	原 田	皆 川	浦 田	矢 野
9月4日 本会議第1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月17日 本会議第2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月18日 本会議第3日	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は出席 ●は欠席

決算特別委員会報告

委員長 尾崎さつき 副委員長 田崎みゆり
委員 石谷 光信 木戸 勝正
高津 鶴己 原田 幸美

平成30年度福智町一般会計・特別会計・水道事業会計の歳入歳出決算を審査するため、決算特別委員会を設置し、審査をおこないました。

主な意見

- ①合併による国の優遇措置の終了後は、普通交付税が減額されるため、財政力に不安のある本町においては、財政悪化が懸念される。中長期的な観点から、安定的な財政運営が行えるよう、国の合併優遇策により膨らんだ予算規模の縮減を段階的に行っていただきたい。
- ②公共用地先行取得事業特別会計について、予算の執行がない状況が続くのであれば、この特別会計の廃止を検討していただきたい。
- ③事務作業をする中で、ペーパーレス化等で経費を削減できるところがあるはずである。少しでも無駄を省くようにし、節約に努めていただきたい。

総括

健全な財政状況の一方で、診療所事業会計の赤字を一般会計が補っている状況が続いている。このまま放置すれば、財政運営は困難な事態に陥る。先送りしていた特別会計の赤字問題を早期に是正し、健全な行財政運営に努めるよう求める。

	歳入	歳出	歳入・歳出差引額
一般会計	190億7531万3千円	185億7004万円	5億527万3千円

・基金現在高(H30年度末 普通会計)……………185億6942万2千円〔前年度比較 2億7907万8千円減〕
 ・地方債現在高(H30年度末 普通会計)……………203億4723万円〔前年度比較 1億6155万1千円減〕

特別会計	歳入	歳出	歳入・歳出差引額
同和地区住宅新築資金等貸付事業	6220万3千円	4998万円	1222万3千円
公共用地先行取得事業	0千円	0千円	0千円
国民健康保険	27億4427万2千円	27億372万3千円	4054万9千円
後期高齢者医療	2億7920万5千円	2億7814万3千円	106万2千円
福智町立診療所事業	4億270万6千円	8億3057万円	△4億2786万4千円
田川郡町村公平委員会	216万8千円	68万2千円	148万6千円
事業会計	総収益	総費用	差引額
水道事業(収益的事業)	7億1878万円	5億9262万8千円	1億2615万2千円

※各欄は単位未満四捨五入しています。

監査委員の意見

今後の行財政運営にあたっては、交付税については平成28年度から合併算定替効果の段階的縮減が始まり、令和3年には皆減となる。また、会計年度任用職員制度が令和2年度から実施され、人件費の増加は免れない。さらに、「金田小中学校・伊方小学校の改築事業」、「こみ・し尿処理施設建設事業」、「町営住宅の改修・建替事業」、「文化財関連施設整備」など、多額の経費を要する事業実施が見込まれている。以上の事を踏まえると、何も対策を講じず現在のままの状態で行くと、経常収支比率は今後数年で100%を超え、財政硬直が進むと思われる。このため、機構改革などを行い事務事業の見直しを図るとともに、合併後進んでいない公共施設の統廃合や民営化を早急に行い、「経常収支比率の改善」に特化した予算編成とすることが急務である。また、各種団体への助成金をはじめ、長期に渡り実施している事業について、当町に寄与する事業か否かを充分に見極め、効率的で質の高い行政サービス、また、健全で経済的な財政運営とし、さらに、全ての町民に平等に受けられるような行財政とすることを要望する。

常任委員会報告

各常任委員会で審議した主な質疑
応答・意見などをご紹介します。

総務文教常任委員会報告

委員長 木戸 勝正 副委員長 石谷 光信 議長 矢野 博文
 委員 朝部 壽・楠木 静則・木村 幸治・浦田 光由
 所管課 総務課/出納室/財政課/まちづくり総合政策課/税務課/学校教育課/生涯学習課/支所/議会事務局

主な質疑

一般会計補正予算

質疑 企画費について、負担金補助及び交付金の福岡県移住支援事業200万円の説明を求める。

答弁 この事業は、福岡県が地方創生事業として国と行う事業で、事業費については、国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1を負担することになっている。東京圏から福智町へ移住をする方へ助成をするもので、県が創設したホームページ「マッチングサイト」に申請をした企業に就業をする方が、東京圏から福智町へ移住する場合には、1名当たり100万円を助成する。しかし、現在のところ基準を満たすのが難しい内容となっており、来年度以降に本格的に進められる予定である。今回予算化が必要となったため、計上している。

質疑 「福岡県移住支援事業」と書いているが、福智町へ移住する方を対象としているということか。

答弁 ご指摘のとおり。福岡県が指定した企業に就業する人で、福智町に移住する人を対象としている。

その他の案件

質疑 社会教育総務費について、報償費の全国大会出場報償費20万円について、説明を求める。

答弁 福智町に在住する者、もしくは活動拠点を福智町に有する者が、福岡県もしくは九州代表として、全国規模以上の大会に出場することが決定した際に、その個人又は団体に対して、出場報償費を交付するものである。例年、1名か2名対象となり支給している。

質疑 方城診療所の整形外科医が、週1回コスモス診療所に行つて診察していると聞いたが、本当か。

答弁 コスモス診療所にはリハビリの指示を出せる医師がおります、リハビリの患者が少なくなってきたため、毎週水曜日の午後、方城診療所の医師が、指示を出すためにコスモス診療所へ行って、診療している。

質疑 2つの診療所とも赤字が大きいの。小さな町に2つの診療所は本当に必要なのか。1か所にまとめるべきではないか。診療所の今後について、町長の考えを聞きたい。

答弁 現在機構改革を検討している。その内容が決まるのが、1、2年後の予定である。診療所についても、1、2年のうちに改革の方向性を出す予定である。

審査結果

当委員会に付託された議案、請願を慎重に審議した結果、すべて可決・採択しました。



▲審議風景

厚生常任委員会報告

委員長 堀江 政洋 副委員長 尾崎さつき
委員 属 紀三嗣・田崎みゆり・小松 繁信・矢野 博文
所管課 住民課 / 福祉課 / 人権・同和対策課 / 保健課 / 診療所

主な質疑

一般会計補正予算

質疑 介護保険費について、負担金補助及び交付金の地域介護・福祉空間整備推進交付金981万4千円増額の説明を求めぬ。

答弁 これは国が地域介護の防災減災対策のために施設の整備費用に充てている交付金である。今回は町内の2つのグループホームが、防災のための発電機の据え付け工事と、入所者が安全に入浴を行うための浴室の改修工事を行うため、補助金を交付する。

診療所事業特別会計補正予算

質疑 非常勤医師の予算が計上されているが、現在は医師を常勤で雇うのは厳しい状況なのか。

答弁 地方に来て診察をする医師はなかなか見つからない状況である。「スモス診療所の内科では、昨年度は非常勤医師により交代で診療していたが、今年度からようやく常勤医師を雇うことができた。方城診療所の内科では、昨年度は県から1名の常勤医師を派遣してもらっていたが、今年度は県から派遣される医師は週に2日しか来られないので、

別途非常勤医師を雇って診療を行っている。

質疑 診療所の希望としては、常勤医師を雇いたいのか。

答弁 非常勤医師だと患者が減る傾向があるので、診療所としては常勤医師を希望している。

その他の案件

質疑 今月の広報紙に旧赤池町庁舎跡地売却の記事が載っているが、町有地の売却についてどのような事務処理を進めているのか説明を求めぬ。

答弁 町としては使用されていない土地はなるべく売却したいと考えている。そういった土地については、土地活用審査委員会にかけながら、土地の評価鑑定額等、売却に必要な作業を行って、準備の整った土地から売却している。

質疑 旧赤池町庁舎跡地については、法人向けにと書いてあるが、どのような法人に売りどういう施設を作りたいという、町の考えがあるのか。

答弁 今回は住宅分譲と社会福祉施設等、何らかの施設を提案してもらい進めていく予定である。

質疑 見込みはあるのか。

答弁 募集が9月19日から概ね3週間となっている。

意見 施設が減ると、人の集まる場所が減ってしまう。町民としては人が集まる場所を整備してもらいたいという希望がある。売却だけでなく、人が集まる施設を整備してもらいたい。

質疑 地元の方への説明はしているのか。庁舎跡地では子ども達が集まっていたが。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。



▲審議風景

産業建設常任委員会報告

委員長 橋本 隆馬 副委員長 沼口 富生 議長 矢野 博文
委員 高津 鶴己・原田 幸美・皆川 高司・日比生 洋一
所管課 建設課 / 農政課 / 住宅課

主な質疑

一般会計補正予算

質疑 農村環境整備事業費の測量設計業務委託料600万円増額補正について、内容とその契約方法の説明を求めぬ。

答弁 弁城ダムの浚渫工事の測量設計業務委託料として計上している。契約方法は、指名競争入札の予定である。

その他の案件

質疑 各交差点に設置されているカーブミラーについて、雨の日に鏡が曇ったり寒い日に凍結したりして、見えない場合がある。そのような場合に対応した高性能なカーブミラーがあるが、交通量が多く事故の起きそうな交差点については、そういった高性能なものを設置してはどうか。

答弁 標準のもの比べて値段が高くなる。予算の都合もあるので、今後の検討課題としたい。

質疑 ふるさと納税が福智町の財政に大きく貢献したが、この度の総務省の指導により寄附金額が大きく減っていると思う。どのような対策を実施しているのか。

答弁 2つの民間企業のホームページ

で宣伝してきたが、今後は3つに増やし、さらに県指定特産品のラインナップを検討していく。

質疑 予算計上している7億5千万円の寄附金を確保できそうか。

答弁 今のペースだと1億5千万円程度になる。それが3億円以上になることを目標に対策を強化していきたい。

質疑 放課後児童クラブの定員と現在員は何人か。指導者の数は充足しているか。待機児童はいるのか。

答弁 児童クラブは町内に7か所10教室ある。定員は合計で371人。利用者数は合計で340人。指導員については、国の基準以上の計31人が配置されている。待機児童は現在市場小学校に5人いる。

質疑 市場小学校の待機児童は、他の児童クラブに行くことはできないのか。

答弁 放課後に歩いて行ける場所での児童クラブということで保護者は市場小学校を希望しており、「他の児童クラブでの受け入れ」ということにはならない。

質疑 もし事故等があった場合の対応

はどうしているのか。虐待を疑うような事例は今までなかったのか。

答弁 事故が起きた場合は、各児童クラブが加入している傷害保険で対応している。また、安全点検マニュアルを各児童クラブで作っている。虐待等が懸念される子どもについては、福祉課に連絡があった時点で小学校と連絡を取り、事実確認をしている。虐待されている子どもは要保護児童対策地域協議会で会議にかけて管理するようになっていくが、現在そういう案件はない。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。



▲審議風景

一般質問

(令和元年第3回定例会)

議員9人が町政を問う

一般質問は、町の行政全般にわたって、町長や教育長などに、方針や説明を求めるものです。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。本議会での傍聴をお待ちしています。

質問者	質問事項	ページ
原田 幸美	農業振興について 障がい者のスポーツについて 金田小・中学校について	9
朝部 壽	公共施設の使用について 公有財産の売却について	10
沼口 富生	行財政改革の具体的方向性について 物産館「ふれあい市」の運営について 会計年度任用職員制度について	11
石谷 光信	各区の町内会加入率について 各地区からの要望書について 福智町の農業政策について ふるさと納税について 福智町の活性化について	12
田崎みゆり	国民健康保険事業方針について 保育料無償化に伴う給食食材費の徴収について 介護保険料の引き下げ及び減免について 災害対策について	13
高津 鶴己	職員採用の取り止め等について 金田小学校・中学校の跡地の利活用について 防災対策について 行財政改革の推進－民間移譲、民営化について－	14
木戸 勝正	水と灯火の夕べの中止について 各団体の助成金交付金について	15
尾崎さつき	結婚支援事業について 切れ目のない子育て支援について 高齢者の運転免許証返納について	16
木村 幸治	赤池・方城支所の業務について 農業政策について 空き家対策について 安全運転サポートについて	17

※各議員が質問した事項の中から抜粋して掲載しています。

議会を傍聴しませんか!!

本庁舎4階の傍聴席入り口で、住所、氏名等を受付票にご記入いただき、受付箱に投函のうえ議場傍聴席にお入りください。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。(☎0947-22-7772)



原田 幸美議員

農業振興について

問 福智町では農作物で特産品と呼べるものがないが、そのことについてどう考えているか。福智町となり13年目に入っている。その中で目新しいものが全然ない状況であるが、町の考えを尋ねる。

答 町長 福智町のふるさと納税返礼品でも人気のある梨・イチジク・あまおうイチゴについては特産品と言えるのではないかと考えている。福智町は農地が広いため、これらの品をどういふふうに進めていくかはこれから検討課題である。

問

今、米・麦・大豆を作りたくても農機具がかなり高く、収穫した作物の価格は低迷している。福智町でこれという特産品が1つあれば、盛り返しができるのではと思う。もう少し農業振興に目を向け取り組んでいただきたい。

答 町長 今、米・麦・大豆を今、各地で集落を単位として共同で農業に取り組み集落営農が広がっている。後継者の育成も大きな課題であると思うが、今後、福智町の農業をどう展開していくのか尋ねる。

問

障がい者でスポーツに力を入れて取り組む方が多くなってきた。パラリンピックの影響等もあり、昔であれば引込み思案でやっていなかた方が、自分を前に出して生きがいを感じてスポーツに取り組んでいる。田川市郡に呼びかけ福智町が中心となり障がい者専用スポ

答 町長

これまでは少数人数での経営であったが、集落営農を含めて、農業法人等の提案をしながら大規模な経営を進めていくのが今後の方向性ではないかと感じている。



▲ふるさと納税「いちご」

障がい者のスポーツについて

問 障がい者でスポーツに力を入れて取り組む方が多くなってきた。パラリンピックの影響等もあり、昔であれば引込み思案でやっていなかた方が、自分を前に出して生きがいを感じてスポーツに取り組んでいる。田川市郡に呼びかけ福智町が中心となり障がい者専用スポ

ーツ施設をつくってはどうかと考えるが、町長の見解は。

答 町長

福智町にはコスモス保健センターのトレーニングルーム、B&Gプール、体育館等がある。今後は共用型施設として健常者と障がい者が一緒にトレーニングできるような施設が必要となってきたらと思う。

今、町内にある施設で障がい者用のトレーニング器具を購入することでその対応はできると考えている。施設の改修等についてはこれからの課題だと思ふ。

金田小・中学校について

問 金田小・中学校が一貫校へ移行した後、現在の学校の跡地はどういうふう活用する考えなのか尋ねる。

答 町長 民間から借りている土地がかなりあり、以前より土地所有者との協議を進めており、現在も進行中である。

問

現在の建物を解体するにしてもすぐにはできず、その間の維持管理費もかなりの金額が発生することになる。移行後のことは想定できていたことなので、早急に取り組みをしていただきたい。民間から借りている土地の賃借料は今後、解体するまで支払うのか。

答 町長

解体を急がないと借地料は払わなければならない。金田中学校のプール部分も借地であり、早急に解体を進めたいと考えている。

意見

いろいろ難しい問題だと思ふが、解体すると方向性が決まっているのであれば早急にやっていただきたい。金田小学校についてはプール・体育館・グラウンドがあるため、先ほど質問したように障がい者のスポーツ施設として整備することを検討していただきたい。



朝部 壽議員

公共施設の使用について

問 旧赤池町時代に建設された当時隣保館と呼ばれていた人権のまちづくり館は、現在どのように使用されているか。

答 町長 田川地区の人権センターが同和問題関係の事務局として一部使用しており、同和教育担当者の会議・研修をおこなっている。2階のホールは卒園式等に使用されることもある。

問 一部は使用されているようだが、建設された時期と経過年数を尋ねる。

答 町長 昭和52年に建設されており、経過年数は41年である。
問 この建築物が耐震構造に適合しているのであれば、各イベントや行事にもっと活用してほしいというのが町民の願いだと思いがどう考えているか。また利用する人が機器等を搬入しやすいように会館に裏口とエレベーターの設置をしてはどうか。

答 町長 早急に改修することは考えていないが、利用しづらい状況であるかについては確認していきたいと思う。

公有財産の売却について

問 今現在、方城支所にはどのような課・係が配置されているのか。

答 町長 教育委員会の学校教育課及び生涯学習課と、地域住民係、電算室が入っている。

問 方城支所については過去にさまざまな議論がされてきた。今現在は売却という話ではないとのことだが、一番の課題は電算室をどうするのかということであった。本庁に移すのがベターだと考えるが、町長の見解を伺う。

答 町長 いろいろと問題はあろうと思うが、機能を効率的に使うにはやはり本庁に一元集中という形がいいと思う。その機能を整えたあとに、支所の売却や民間移譲といった検討をしていくべきだと考えている。

問 旧赤池町庁舎跡地の売却については、9月号の広報紙に掲載されているが、どのような売却を考えているのか。

答 町長 現状のまま売却する予定でホームページに掲載している。住宅分譲、保健福祉利用施設の整備を考えている民間主導の法人等も対象としている。買受事業者を募集し、公開プロポーザルによって受付をするようにしている。

問 売却の内容等については今後決定するようだが、跡地の面積はどれくらいか。

答 財政課長 旧役場跡地の敷地面積が約5423平米、町営住宅跡地の敷地面積が約1207平米となっている。今回の売却では企画提案内容と買受価格の2つを審査するが、価格面では平米あたり6230円という売却最低金額を提示しているため、旧役場跡地で約337



▲赤池庁舎跡地

9万円、町営住宅跡地で約752万円を最低基準として設定して買受事業者を求めようとしている。

問 公有財産の売却については、行政主導ではなく、住民説明会を開いて地域住民の方々に周知することが大事だと思う。説明会の開催が難しいのであれば、各行政区長に集まってもらい説明し地域の方々への周知を依頼することもできたのではないか。これでは議会や町民不在の政策であると思うが町の見解を伺う。

答 町長 この質問については重く受け止めたいと思う。



沼口 富生議員

行財政改革の具体的な方向性について

問 支所廃止は機構改革等の問題をクリアしてからと言っていたが、その進捗状況を尋ねる。4月以降コンビニ納付・証明書の交付ができるようになったから支所を廃止するのかが、そつであれば納付できない使用料等もあるため問題があるのではないか。

答 町長 支所廃止は、現在準備している機構改革等を行ってからとなる。計画では令和3年度末に廃止する方向で進めている。その一つの手段としてコンビニで

税金等の納付と証明書の発行ができるようにしているが、水道料金等はコンビニ納付できないため、指定金融機関や本庁で納付していただくことになる。
問 支所や本庁は税金等の納付・証明書の交付はもちろん、住民が生活するうえで何でも相談できる場所ではないかと思うが町長はどう考えているか。また、次の計画にあると思うが診療所の統廃合についての考えを尋ねる。

答 町長 診療所等はやはり今後、統合しながら運営する必要があると思う。支所の廃止や診療所の統廃合等を

物産館「ふれあい市」の運営について

問 上野の里農産物直売所は今年2月から休館となっている。直売所がなくなり消費者も困っているが、現状はどうなっているのか。

答 町長 2月15日に突然閉鎖となった。実情はかなりの借金を抱えて倒産した状況である。現在、一日も早い開館に向けて弁護士とも相談しながら対応策を考えているところである。

問 再開となればすぐにも地元農産物の必要となる。施政方針でも



▲上野ふれあい市

会計年度任用職員制度について

問 福智町には180名ほどの臨時職員がいると聞いているが、来年度以降導入される会計

況について、説明をしていただきたい。

答 町長 会計年度任用職員に関連する条例の提案を9月議会で行うよう準備していたが、もうしばらく時間がかかるため12月議会で提案したいと思う。

問 会計年度任用職員制度の導入と現在の臨時職員との労働条件の比較はどうなっているか。また福智町では多くの臨時職員が雇用されているが、これを契機に臨時職員を正規職員にすることはできないのか。

答 町長 現在の臨時職員の労働条件より悪くならないように調整は行っているが、業務内容・業務量によっては金銭面で現状より悪くなる職員が全くないとは言えない状況である。臨時職員の正規化については、業務内容等を判断しながら検討したいと考えている。



石谷 光信議員

各区の町内会加入率について

問 福智町全体の町内会加入率はいくらか。

答 町長 全体的な加入率は把握していない。福智町職員の加入率は、平成29年10月時点で約77%である。

問 以前アンケートを実施し役員会議で結果を尋ねたところ、まだ回答が出揃っていないが、その後どうなったのか。

答 町長 現在75%の回答率である。全体の回答ではないため内容については答弁を控える。

問 町内会加入とそこで

の絆づくりが町の基

本だと考えているのか。加入促進対策はしているのか。

答 町長 行政区へのお願いと広報での啓発をしている。担当課も促進の旗を

意見 作成する等努力しているようだが早急に進めてもらいたい。

各地区からの要望書について

問 各地区から要望書が出ていると思うが、どのように受け付け、どのように回答しているのか。

答 町長 要望書の返事が遅

いことは以前から指摘されている。簡単な要望はすぐに返事し、検討時間が必要な要望はその説明をしていく。

問 今の要望書の残数はいくらか。

答 町長 要望書の受付件数は171件、要望件数は215件、残数は51件。

意見 以前区長役員会で問題になった時は、すぐに改善され回答が早くなったが、だんだんと疎かになっている。早い対応を

福智町の農業政策について

問 現在町内に専業農家は

何件いるか。

答 町長 全員が専業ではないと思うが、九州農林水産統計年報の平成29・30年の調査では農業従事者は240人である。

問 田川地区では広大な農地を持つ福智町だ

が、野菜・果物の自給率は低い。原因は、出荷先や販売先が近くにないためや、生計が成り立たないため生産者が大量に生産できないためだと思いがどうか。

答 町長 若手の農業従事者育成は町の課題である。農業法人等の参入を検討しながら農業委員会を通じて議論していきたい。

ふせちゅう納税について

問 昨年度は寄附金が13億円を超え、この4

年間で55億円だったが、今年度から規制が厳しくなり、町長の目標は7億5千万円だった。現在の状況は。

答 町長 4月から8月まで2382万円。昨年は同

期間で2億7千万円。目標額の修正が必要である。

問 返礼品の規制が厳しくなったが、寄附額のほとんどが税金から控除され、さらに返礼品が届くため、寄附する人は減らな

いと思う。特産品の開発が急務だと思いがどうか。

答 町長 特産品は現在230品目、前年は454品目。福岡県の地域認定品を加え300品目以上になるよう各企業と話し合っている。

意見 担当部署だけではなく、プロジェクトチームを組むなど力を入れてほしい。

福智町の活性化について

問 田川直方バイパスを

利用した活性化を考えているか。道の駅を作つてはどうか。

答 町長 バイパスを素通り

する車が多いので、福智町に留めてふじ湯の里や方城スカイラインを利用した観光客導入に生かしたい。道の駅については、国の補助金を含めた中で検討する。

意見 ぜひ地元農産物直売所を兼ねた道の駅を作ってもらいたい。

国民健康保険事業方針について

問 前回の議会で国保税

について町の方針を尋ねたが、国民健康保険運営協議会が行われていないため、方針が決まっていないという回答であった。その後、協議会は開かれたのか、町の方針は決まったのか。

答 町長 協議会は9月25日に開催予定である。

問 国保税の滞納状況を尋ねる。

答 町長 平成30年度は、滞納額は約3785万円である。



田崎みゆり議員

問 国保税の均等割の廃止や子ども分の減

免はできないのか。

答 町長 県は所得割・均等割・平等割の3指標での統一化を推進しており、均等割を廃止すると高齢者や独居世帯への負担が増える。今後協議会で検討されるため、その方針に従いたい。

意見 県では資産割の廃止を検討していると聞いている。その場合、資産

がない人は負担が増え、今後滞納も増えるのではないかと。町には、国保への支援の継続と、国・県への公費支援の拡充を求めている。きたい。

保育料無償化に伴う給食食材費の徴収について

問 この問題について保

育園より様々な声が寄せられている。町長に直接話しかかったが、面談が叶わなかったため質問する。当初4500円だった副食費が値上がりしたのはなぜか。

答 町長 副食費について、国

が示す公定価格が物価調整分値上がりし5181円となった。福智町では本年7月の園長会議により、副食費を4500円にすることで決定したが、この金額は町が決めたものではない。差額分については、加算等を活用しながら園が負担することになる。

問 保育料無償化により

町の負担は減るのではないかと。その分を給食費に回して、無償化できないのか。田川市・大任町・赤村・川崎町と無償化は広がって

いる。給食費徴収は事務の煩雑さや滞納も負担となるので、町が責任を持ち対策を考えてほしい。

答 町長 保育料無償化による

町の負担軽減額は約3500万円である。給食費を無償化すると、その分を差し引いても、さらに5千万円以上の負担がかかるが、今後、検討していきたい。徴収業務は、地方自治法により町ではできない。

介護保険料の引き下げ及び減免について

問 福智町の介護保険料

基準額は平均より2千円高いが、全国でも高いという認識はあるか。県内では保険料・利用料を減免する自治体もある。

答 町長 県内では6番目の高

さだが、保険料は広域連合で検討しているので、減免等は考えていない。年金が18万円以下の普通徴収者の中に

は、保険料や自己負担分の利用料を支払えない人がいる。高齢者が多い町で対策は考えているのか。国や県に公費支援を求めないのか。

答 町長 この件も広域連合の

中で議論すべきである。国や県に公費支援をこれ以上求めることは考えていない。

災害対策について

問 彦山川沿いでは水害

が続いているが、防災会館を整備できないか。

答 町長 現在のところ計画は

ない。住民がグループを作り、緊急時に誰が誰を助けるか日頃から話し合っている地区がある。このような助け合いが広がるよう、支援を行ってほしい。

答 町長 要支援者の名簿を民

生委員や区長に渡し備品の貸出しも行っている。町として支援していきたい。



高津 鶴己議員

職員採用の取り止め等について

問 福智町ホームページで令和2年度の職員採用を見合わせると公表しているが、それはどういう理由からか。

答 町長 本年度末の退職予定者の人数や職種等を勘案し、総合的に判断したうえで採用の見送りを決定した。

問 令和2年度限りの採用取り止めなのか、次年度以降も取り止めを続けるのか。

答 町長 次年度以降はその年度の退職者数や職種、職場の状況に応じて判断したい。

度、退職者数や職種、職場の状況に応じて判断したい。

金田小学校・中学校の跡地の活用について

問 金田小学校・中学校の跡地の活用について、町の基本的な考え方はどうなっているのか説明を求めます。

答 町長 金田小学校は、現在の校舎をそのままの状態を活用するという考えは今のところなく、建物の解体を予定している。金田中学校もやはり校舎を解体したうえで、グラウンドゴルフな

ドスポーツでの利用を考慮しており、近くに日王の湯や宿泊施設もあるため、それにつながる計画をしたい。
意見 財政状況が厳しいが、費用対効果を勘案し、計画が固まった段階で議会に提案していただきたい。

防災対策について

問 大雨特別警報が頻繁に出され、想定外の被害ばかりが起きている。福智町の防災訓練、災害対応マニュアルの整備状況をお尋ねする。

答 町長 全町あげての避難訓練は実施していない。しかし、これだけ多くの災害が起きているので、今後は臨機応変な対応が求められる。そのために町全体での避難訓練について、今後検討したい。災害対応マニュアルについては、平成27年3月に「福智町地域防災計画」を整備している。

意見 福智町出身の武田良太衆議院議員が9月の内閣改造で国家公安委員会委員長と内閣府特命担当大臣（防災担当）に就任された。この機会に、市場地区・草場地区の浸水対策等、福智町の防災対策事業について、精力的に予算獲得の努力をしていただきたい。



▲地域防災計画

行財政改革の推進・民間移譲、民営化について

問 民間で既に行っている事業については、民間に任せられた方が効率よく事業を行えると思う。診療所について統廃合という意見もあるが、民間に移譲した方がいいのではないか。

答 町長 今のところ統廃合を



▲第一保育所

前提に考えている。
問 中央保育所を民間移譲して半年ほど経過したが、その中間報告をしていただきたい。

答 福祉課長 広報ふくち8月号に掲載したが、3年間の準備期間を設けたこともあり、大きな混乱もなく順調に民間移譲が進んでいる。
意見 第一保育所は、保護者、住民等への説明が完全に終わっていないという話も聞く。全員に納得していただけるよう説明をし、ぜひ3力所の保育所全て民間移譲を実施していただきたい。



木戸 勝正議員

水と灯火の夕べの中止について

問 水と灯火の夕べは旧金田町から27年間続いてきたイベントで、町民と行政が協力し、ふれあいの場として町の活性化に向けて続いてきた。当初行われた灯籠流しは無くなり、ここ数年は盆踊りと花火大会だけだったが、楽しみにしている町民も多く、中止を残念がる声が入ってきている。町長は施政方針の中で、町民の憩いの場の歴史、文化伝統を守る場をつくり推進すると言っていたのではないかと。今回中止の理由を尋ねる。

答 町長 今年は町長選挙等のため、花火師との打ち合わせが不十分となり、準備期間があまり取れなかった。来年も実施しないわけではなく実行委員会の中で検討していく。
問 数年前は午前中の雨のため早めの判断で中止にし、午後晴れた時に町民から多数の苦情が寄せられたと聞いた。27年間続いたイベントなので、町長が病氣療養中でも予算計上はできたはずであるし、担当者がいればイベントを実施できたのではないかと。

答 町長 今年も町長選挙等のため、花火師との打ち合わせが不十分となり、準備期間があまり取れなかった。来年も実施しないわけではなく実行委員会の中で検討していく。

問 数年前は午前中の雨のため早めの判断で中止にし、午後晴れた時に町民から多数の苦情が寄せられたと聞いた。27年間続いたイベントなので、町長が病氣療養中でも予算計上はできたはずであるし、担当者がいればイベントを実施できたのではないかと。

付金からではなく、需用費から支出しているが、その理由と支出額について尋ねる。
答 町長 平成29年度から金銭の流れを明確化するために需用費、役務費、委託料の事業費支出体制を取っている。平成29年度の支出額は165万5768円、平成30年度の支出額は157万5221円、今年度の支出額は、145万6904円となっている。

問 車椅子テニス大会の助成金は平成29年度から、負担金及び交



▲水と灯火の夕べ

問 参加者が減少傾向にあるイベントについて、町が主催するイベントと、商工会や青年団、老人ホーム等の行事が重なることが多々あるので、そのあり方を検討してみてもどうか。

答 町長 来年のイベントについては、内容を検討したうえで実施する予定である。

問 日王の湯とふじ湯の里の助成金の内容を尋ねる。
答 町長 日王の湯助成金800万円、ふじ湯の里助成金1200万円、どちら

答 町長 商工会助成金が450万円。イベント助成金が250万円。
問 日王の湯とふじ湯の里の助成金の内容を尋ねる。



▲ふじ湯の里

問 商工会の助成金と商工会イベント助成金について、それぞれの金額を尋ねる。
答 町長 商工会助成金が450万円。イベント助成金が250万円。

意見 各団体の助成金は全部で79件ある。これらを町民に公開し理解してもらってはどうか。町民の税金から成る予算から支出しているため、情報公開について検討していただきたい。



尾崎さつき議員

結婚支援事業について

問 近年結婚しない人が多くなってきたり、出生率にも大きく影響するため、国は2016年に少子化対策の一環として結婚新生活支援事業を始めた。この事業は、各自治体

答 町長の見解を問う。環境整備も含めて支援する中で、未婚率を下げ

ながら、出生率が上がるような対策は考えるべきだと思っている。

問 結婚新生活支援事業は、1724市区町村のうち257自治体が、田川市郡では、川崎町・糸田町・大任町がこの事業を行っている。社会福祉協議会の結婚相談所「赤い糸」は、会員90人で一年に一回男女の出会いの場であるイベントを行っている。これを充実したイベントにするためにも、婚活支援をして

答 町長 婚活イベントの実施等、支援を実施していききたい。

切れ目のない子育て支援について

問 産後ケア事業が平成28年から取り組まれている。これは産後間もないママたちの育児、心と体をサポートするもので、日帰り型と宿泊型がある。コ

スモス保健センターが窓口となっており実施して3年目となるが、どのくらいの利用があるのか。

答 町長 平成28年度から3年間で延べ137人が利用している。

問 この産後ケア事業は田川地区では福智町にしかない事業なので、さらなる支援策として、母子手帳アプリ「母子王」の導入を提案する。ママたちの情報はほとんどスマートフォンからである。アプリを導入することで、自治体の発信した情報的確に届くようになり、子育て世代が抱える孤独や不安が解消され、出生率向上にも貢献

できると思っていますか。

答 町長 導入すると毎年運営費が約36万円かかると聞いている。他のアプリとも比較しながら検討する。



▲母子手帳

高齢者の運転免許証返納について

問 高齢者の事故がテレビで連日報道され、他人事とは思えない状況に胸を痛める。昨年のある調査によると、運転免許証の自主返納が1年間で42万2033件となり、前年より7万6720件増えている。中でも75才以上が25万2677件で、前年より9万336件増え、過去最多を更新したと警察庁のまとめで分かっている。福智町

では、免許証返納は何件あるのか。

答 町長 平成30年度で22人、令和元年度は7月末までに32人が自主返納している。

問 高齢化が進んでいる割には返納者が少ないのは、返したくても返せないのが現状ではないかと思う。交通の便が悪く、車がないと生活がしにくい。今後は運転免許を返納しやすい環境づくりが求められるが、返納した方に対しタクシーチケットを交付してはどうか。町長の見解を問う。

答 町長 タクシーチケット及び平成筑豊鉄道の回数券、バスの回数券という形で、金額の上限はあるが助成を考えていきたい。

意見 この問題は、検討と

農業政策について

問 認定農業者の更新申請について、認定の手続きは終わっているか。

答 農政課長 34名の申請があったが、全員手続きは終わっている。

問 旧3町の減反補助金更があったのか。

答 町長 水田協議会を通じて助成をしているが、現在のところ変更はない。

問 農業機械の導入助成を行う考えはあるか。

答 町長 国庫事業、転作事業等があるが、事業要件を満たした団体、農業法人、営農組合、認定農業者等については、補助率に応じて町の負担分を支払っている。

意見 その要件を満たすのは非常に厳しいと聞いているので、町独自の助成制度も別途検討していただきたい。

空き家対策について

問 空き家問題の解決策として「相続財産管理制度」が有効であるという報道が新聞に載っていたが、福智町の空き家対策にも活かせるのではないかと

答 町長 この制度の利用により、解体費用の回収や、跡地の活用ができた事例があると聞いている。今後、この制度の活用も視野に入れながら、空き家対策を進めていきたい。

意見 以前も述べたが、近所に空き家があるために非常に困っている住民もいるので、特に危険な空き家についてはこういった制度を活用し、早急に対策を取っていただきたい。

安全運転サポートについて

問 高齢者のドライバーがブレーキペダルと

アクセルペダルを踏み間違えることにより起きた事故が近年度々新聞等で報道されている。この対策として、東京都等の自治体が安全運転支援装置の購入を助成する事業を始めたが、福智町でもこういった取り組みはできないのか。

答 町長 現在のところ福智町で助成する予定はないが、今後それらの事業の内容を確認していく。

問 この事業については、福岡県にも取り組んでいただく必要があると思うので、県に確認をお願いいただきたい。また、悲惨な事故を無くすためにも町独自でも取り組んでいくべきではないか。

答 町長 これは福智町でも大きな課題であると考えている。今後福岡県等他自治体で取り組む予定があるのかどうか、対象者の範囲等も含めて確認をしていく。

赤池・方城支所の業務について

問 両支所について、町長の施政方針に遅くとも令和3年度中に廃止と

答 町長 支所の廃止については、合併して10年を目前に行うと決めていたが、既に13年が過ぎた。組織の機構改革においても避けて通れない。

は、合併して10年を目前に行うと決めていたが、既に13年が過ぎた。組織の機構改革においても避けて通れない。



木村 幸治議員



▲赤池支所

意見 今年度よりコンビニで税金の納付や証明書の交付ができるようになったが、高齢者は慣れない手続きが必要のため戸惑ってしまう。支所の廃止について再度検討していただきたい。

研修
報告

新任議員対象の町村議会議員研修会で 学んできました。

令和元年10月29日

10月29日(火)、福岡県自治会館において「町村議会議員研修会(新任議員対象)」が開催され、福智町議会の新任議員3名が参加しました。研修会では、「地方議会の仕組みと権限」を演題に、元全国都道府県議会議長会事務局長の内田一夫氏が講演をしました。

内容は、議会と議員の位置づけや、議会の果たす役割、議員の責務、様々な議会用語などの説明で、議会に関わる基本的な事項を中心に、県内の新任議員と一緒に学びました。また、新聞や雑誌等で取り上げられた議会に関連する最近の記事についても触れ、各市町村議会の様々な取り組みが紹介されました。

議員が欠席できる理由として「出産、育児、看護、介護」を規則に盛り込み女性の議会進出を促した埼玉県狭山市、住民の立候補を促すため議員が兼業できる範囲を条例で明確化した高知県大川村、議員の成り手不足解消のため議会定例会の夜間・休日開催に村長が同意した長野県喬木村等、その内容は様々でしたが、その多くは議員の成り手不足への対策でした。本町でも、この問題について近い将来取り組む必要が出てくるかもしれませんので、これらの対策を福智町でも導入できないか検証する必要があると思います。

講演では、議会改革についても触れられ、「定数見直しや通年会期の導入といった内向きの改革が多いが、もっと幅広い民意と交流し、『議会が何をやっているのか分からない』といった有権者の疑念を払拭するような改革をすべきだ」とのお話がありました。今回の研修を参考にし、福智町議会も、地域の悩みを幅広く吸い上げ、町民に開かれた議会となるような改革が進められるよう努力したいと思っています。



表紙の紹介



「境内入口の鳥居」

神崎地区の産土神 飯土井神社

1507年、豊筑国境(日王山)の^{ひのおうざん}日王神社から^{ひのおうじんしゃ}天照大神を若宮神社(当時の名称)に奉遷した神崎地区の産土神にあたる神社です。そのとき、天照大神のお告げにより、神社の東北に井戸を掘ると清水が湧出し、土も赤飯のようであったことから、以来、ここを^{いどい}飯土井と称して、神社も^{いどいじんしゃ}飯土井神社と呼ぶようになったと伝えられています(昭和62年に改築)。10月の第2または第3の土曜・日曜日が飯土井神社の神幸祭と定められ、偶数年には「飯土井神幸祭」で華やかな山笠が地域を練り歩きます。



大型で強い台風19号が10月12日、伊豆半島に上陸し関東を縦断、突風や土砂崩れ・河川の氾濫、またその後の大雨は尊い人命を奪い、多くの負傷者を出し、更に家屋や農地等は大きな被害を受けました。災害によって亡くなられた方、被害を受けた方に対して、ご冥福をお祈りするとともに心よりお見舞い申し上げます。このような自然災害は最近でも、8月に九州北部を襲った集中豪雨、9月に千葉県などを襲った台風15号など、数多く発生しています。福智町は比較的自然災害の少ない町と思っておりますが、改めて大丈夫だろうかと考えさせられました。自然災害は温暖化の影響ではないかなどと言われており、地球規模の問題ではないかと思えます。国の施策も必要ですが、私たち一人ひとりが、あらためて考えなければならぬ問題だと感じました。

沼口 富生